

鳥シリーズ 2月定例探鳥会

「白川ダム」 小田久美子

今回は皆さんがあまり歩いたことがないだろうと思われる、白川ダムから和邇下神社までの道を探鳥会として選んでみました。

1月号の予告に載せる予定でしたので、コース変更の猶予も考え、11月下旬、夫と下見に行きましたが、和邇下神社までの道が判らず 165 号線に出てしまいました。この道を団体で歩くのは危ないと思い、12月、再度下見をした結果、赤阪比古神社への旧村道を見つけ、いつもと違った面白い探鳥会コースに仕上がったのではないかと自負しております。

体調不良や他用で断念された方があり、12人の少数参加となりました。鳥たちは下見よりもっと増えている筈だと期待していたのですが、下の池ではカモの姿が少ししか見えなくて、内心焦りを感じながら曇り空の下、最近大ニュースになった白亜のシャープ工場を目指して山道を上がりました。今回の探鳥会での本命は、多分皆さんが初認と思われる「カムリカイツブリ」です。長く潜ってとんでもない所へ出てきます。



カムリカイツブリ (撮影者：山縣)



オオバン (撮影者：山縣)

冬、水上のオオバンは良く見ますが、陸に上がって休憩している「オオバン」たちが、私たちを警戒してエッチラ オッチラ水に戻って行く姿な

どは、他ではなかなか見られない光景です。

昼食時間、ダムの周りの柵の杭に「私を見て」とばかりに一羽の「ビンズイ」が止まりました。正面を向いて「顔はこんなんよ」「横顔も見て!」「後姿もちゃんと見てね」と云わんばかりに、階段にいる私たちの前で暫しのパフォーマンス。アイドルのコンサート会場にいるような楽しいひと時は「もうおしまい!」とアイドルさんが飛び立たなかったら、まだまだ見続けていたい光景でした。これも皆さんの記憶に残る、思い出の一コマになったのではないのでしょうか。

カモは少なかったのですが、最後の鳥合わせでは 29 種とまずまずのカウント数になり、お天気も持ちましたので、ひと安心しました。

【カウントした鳥】

- カイツブリ・カムリカイツブリ・カワウ・
- マガモ・カルガモ・ヨシガモ・キンクロハジロ・
- オオバン・ケリ・キジバト・コゲラ・
- ハクセキレイ・セグロセキレイ・ビンズイ・
- ヒヨドリ・モズ・シロハラ・ツグミ・ウグイス・
- エナガ・ホオジロ・アオジ・カワラヒワ・
- イカル・スズメ・ムクドリ・ハシボソガラス・
- ハシブトガラス・(外来種 カワラバト)

合計 29 種

【おまけ】

御承知のように、この地は『記紀』にも記述が出る古代豪族和珥氏の領地です。白川ダム造成に伴って 4・5 世紀の古墳が多く発見され、公園として保存されています。あちこちに地名や伝承地が残っていて、後には私たちの良く知る春日・小野・柿本氏などに繋がる先祖でもあります。

「和邇坐赤阪比古神社」は延喜式に載り、お水取りでは「和邇大明神」の名で読み上げられる延喜式の式内大社でもあります。

という訳で、今回は主眼がバードウォッチングではありますが、通り道の「古墳公園・和邇下神社・東大寺山古墳・柿本寺跡」の簡単な案内をしました。

『古事記・日本書紀』には、和珥臣が沢山出てきます。今回の道も思い出しながら読んで頂けたら嬉しいです。